

令和5年度 政策討論会 第二分科会 第2回 要点記録

日時 令和5年8月14日(月)
場所 第1委員会室
時間 10時00分～10時37分
出席者 宇野 真悟 座長
桑原 佳一 副座長
河合 達雄
倉田 賢一郎
反甫 旭
西田 武史
松本 妙子
田中 市子 (欠席)

決定事項

- 1 選挙管理委員会事務局から過去12年間の選挙の投票率に関するデータをもらい、課題を抽出する。
出席者の意見は別紙のとおり。
- 2 理事者の招へいを決定 { 学校教育課
選挙管理委員会事務局
- 3 今後の討論会の予定
次回は9月26日(火)10時～
次回までに選挙管理委員会事務局から年齢別・期日前投票所開設前後の投票率がわかるデータや、他市との比較データをもらう。
次回に理事者から主権者教育の内容について質疑・応答の場を設ける。

出席者の意見

- 1 投票率向上の為には、小中学校からの主権者教育が重要と考える。
- 2 本市の現状は、多少人口減少の影響はあるのかもしれないが、年々投票率の減少が見られる。これまでの本市の取り組みとして期日前投票所の増設や、主権者教育の対応も選挙管理委員会としてされているが、そもそも一般市民、特に若い世代の関心の低さが大きな要因であると思われる。
- 3 投票率の推移を見ると国政選挙より市議会議員選挙の投票率が低いのが意外であった。若者の投票率が全国的に伸び悩んでいる。若者に選挙に行ってもらえるような取り組みが喫緊の課題であると考え。
主権者教育も産業高校などで実施されているようであるが、中学生や小学生の時から、選挙に対する意識を高めてもらえるように出前講座や主権者教育も実施すべきである。商業施設での期日前投票は良いと思うが、PRの強化をお願いしたい。
- 4 岸和田市の投票率が低いことはわかったが、他市との比較も大切だと思うため、近隣市の資料と見比べたほうが良いと思う。また、期日前投票所の場所を増やしているが投票率の向上にはつながっていないと思うので主権者教育が大切である。
- 5 岸和田市の投票率向上に向けた取り組みについては、それなりに行われているものの、まだまだ工夫する余地はあると思う。
出前講座については選挙管理委員会が主催するものについて資料に記載されているが、学校教育課の取り組みについても調査する必要があると思う。
- 6 スーパー等人的の集まる場所や学校に投票所を設けることが必要であると思う。また、岸和田市民全体の意識改革及び議員の資質向上で岸和田を改革する必要があると思う。
- 7 本市では投票率向上のため積極的に期日前投票所の拡充を進めているが、効果が上がっていないように感じる。予算の問題もあるため、費用対効果について一度検証が必要ではないか。